

氷川台ルートにおける再編検討開始について

1. 氷川台ルートの概要

1.1 路線概況

- (1) 運行開始時期 : 平成 19 年 4 月【試行運行】
- (2) 運行便数 : 日大練馬光が丘病院行き 12 便、練馬北町車庫行き 13 便
- (3) 使用車両 : 小型ノンステップバス 31 人乗り
- (4) 路線図 : 下図参照
- (5) 運行日 : 年末年始(12月29日~1月3日)を除く毎日
- (6) 運賃 : 大人 210 円、小人 110 円
(都シルバーパス、ICカード(PASMO、Suica)使用可能)
ただし、つぎの方は 110 円

65 歳以上の高齢者の方

身体障害者手帳、愛の手帳をお持ちの方と付き添いの方

写真付き精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

は年齢のわかるもの、 は手帳を乗車時に提示すること。

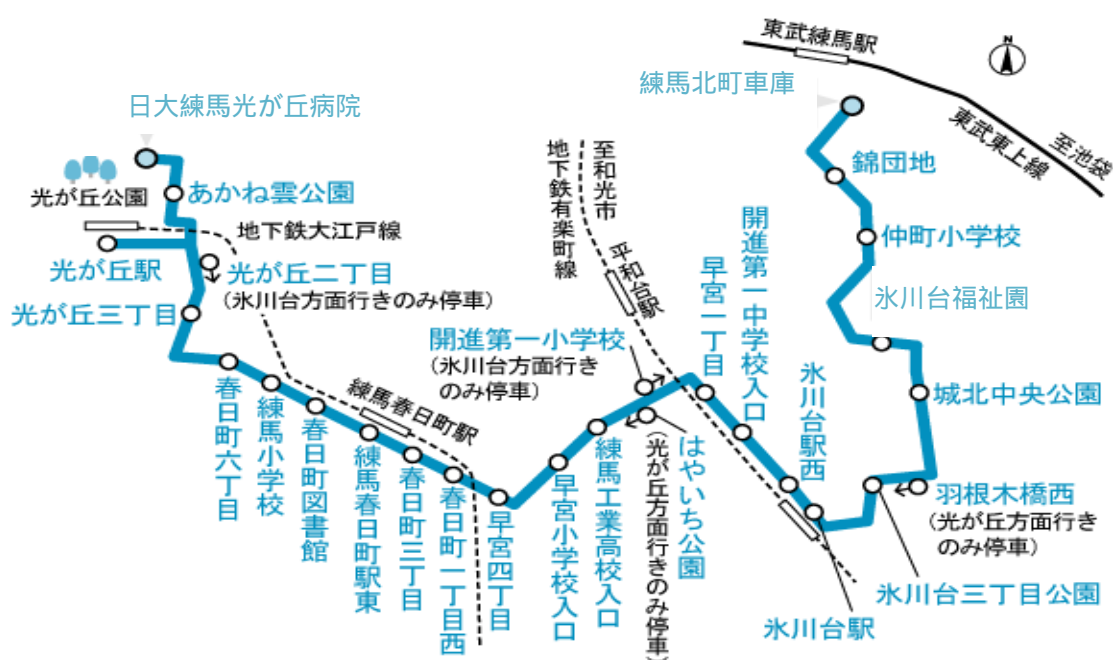


図 氷川台ルート

1.2 氷川台ルートへの導入背景

(1) 福祉コミュニティバスとしての導入（H17年度～）

高齢化を背景に、区民のバス交通に対するニーズが多様化していく中で、区内中核病院へのアクセスが重要な課題となっていた。区立施設である福祉園の送迎バスの空き時間を活用し、福祉園送迎機能とコミュニティバス機能を融合させる形で平成17年度より「福祉コミュニティバス（氷川台ルート）」として氷川台福祉園と日大練馬光が丘病院・光が丘駅をつなぐ路線の運行を開始した。

(2) 福祉コミュニティバスとしての導入（H19年度～）

平成19年度には小型ノンステップバスを使用した形で運行を開始した。同時に氷川台地域北部の公共交通空白地域の改善を図るために、氷川台福祉園から練馬北町車庫へ延伸した。

(3) みどりバスとして再編運行開始（H21年度～）

平成21年度、区内の「練馬区シャトルバス」、「バス交通実験」、「福祉コミュニティバス」の運賃を統一し、「みどりバス」として再編運行を開始した。

氷川台ルートはもともと氷川台福祉園の送迎バスの空き時間を活用した運行であり、福祉園を結ぶ前提のもと路線設定された。このため、現在の路線も福祉園を結ぶ形態が維持されている。

1.3 氷川台ルートの問題点・課題

(1) 1便あたりの利用者数

平成21年度実績で1便あたりの利用者数は13人であり、区内5路線のうち関町ルートについて少ない路線である。（参考資料1参照）

(2) ランニングコストに対する負担比率

平成21年度実績でランニングコストに対する区の負担比率は59.6%と高い（参考資料1参照）。練馬区のコミュニティバス導入の考え方（基本方針）では「ランニングコスト（運行経費）は運賃収入により賄うことを基本とし1/2程度まで負担できるもの」となり、過度の負担となっている。

(3) 路線設定

練馬区のコミュニティバス導入の考え方（基本方針）には、「公共交通空白地域と最寄り駅を結ぶことを原則とし」とあるが、路線の一端は練馬北町車庫止まりとなっており、東武練馬駅等、鉄道駅まで達しておらず、基本方針に合致していない。

(4) 利用状況

平成19年度に実施した利用実態調査結果（3日間実施）によると、練馬北町車庫～氷川台駅間及び光が丘駅～日大練馬光が丘病院間での利用が少ない傾向にある。（参考資料2参照）

運行上の課題や、ランニングコストに対する区の負担比率の課題を改善（区負担を1/2程度に改善）するため、地域住民のニーズ等を踏まえながら経路変更や運行方法の再検討が必要である。

< 参考資料 1 : 氷川台ルートの利用実績と運行経費 平成 21 年度 >

平成21年度の実績

	利用者数(人/年)	1日当たり(人/日)	1便あたり(人/便)
保谷ルート	247,874	690	20
北町ルート	142,718	398	28
関町ルート	88,220	246	11
氷川台ルート	118,799	331	13
大泉ルート	201,882	562	22

平成21年度の運行経費(ランニングコスト)

	運行経費(千円)	区負担額(千円)	区負担割合(%)
保谷ルート	55,516	24,691	44.5
北町ルート	19,853	4,707	23.7
関町ルート	34,836	23,044	66.1
氷川台ルート	40,277	24,005	59.6
大泉ルート	35,049	12,484	35.6

関町ルートは平成 22 年度に再編済み

< 参考資料 2 : 氷川台ルートの方向別・区間別利用実績 平成 19 年度調査の 3 日間合計 >

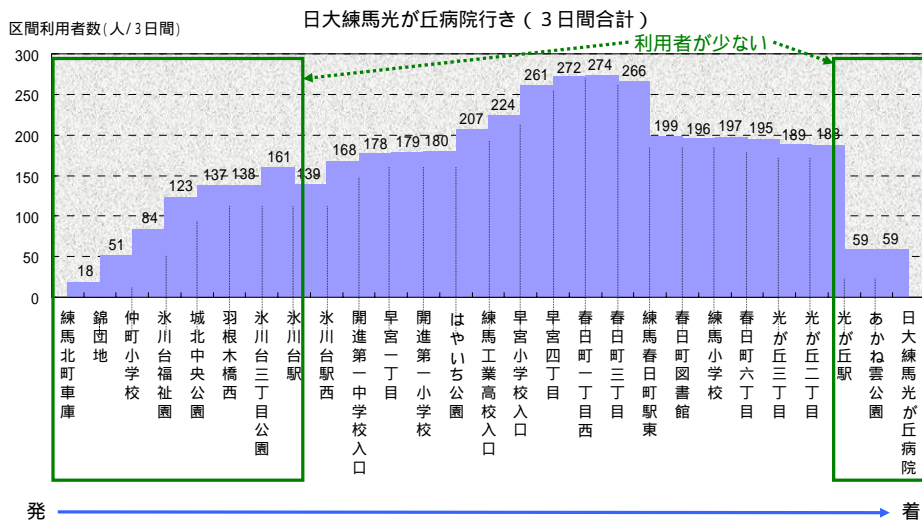


図 氷川台ルートの利用者数(日光大練馬光が丘病院行き)

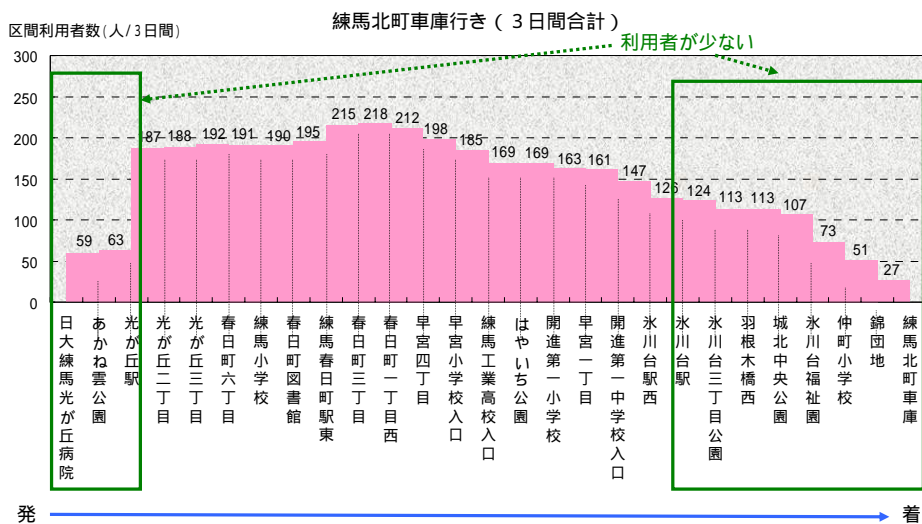


図 氷川台ルートの利用者数(練馬北町車庫行き)

2 . 再編検討組織の設置

再編にあたり、氷川台ルート沿線の地域ニーズ・要望等を踏まえながら検討していくことが必要となるため、沿線地域住民を主体とした「みどりバス氷川台ルート再編検討会」を設置する。

【検討組織】

組織名称 : みどりバス氷川台ルート再編検討会
参加者 : 地元町会等の代表、公募区民 計 31 名

9 月上旬に第 1 回検討会を開催予定